

## IAAL

Institute for Assistance of Academic Libraries

## ニュースレター

アイアールニュースレター

【特集】

2011 春季

## IAAL認定試験

OCT. 2011

No.9



# 門前の小僧は習わぬ経を読まずにはいられない ——司書の底力を見せよう——

NPO法人 大学図書館支援機構  
理事 飯澤文夫

**ア**メリカのシューベルトことアーヴィング・バーリンになぞらえて言えば、「司書ほど素敵な商売はない」、まして大学図書館であれば、とは私の司書生活30年の感懐である。

何が素敵かと言って、まずは、数十万から数百万冊単位の人類の記録遺産たる書物と、電子リソースなど情報最先端の宇宙に遊ぶことができる。これに優る喜びはない。

第二に、様々な目的や専門を持った多数の学生、研究者に接しられること。思いも寄らぬレファレンスに知的好奇心を駆り立てられ、日々刺激的な発見の連続である。

第三は、こうした業務経験を通じて、書誌的知見と資料組織や文献調査・情報検索のスキルが体得できること。自立した「個」として知識基盤社会を生きるには、適切な情報を見つけ出し、批判的検証を行って確かな知識とし、活用していくことが求められる。図書館はそのインフラ訓練学校なのである。

司書は日々知らず知らずに経を学ぶ、まさに門前の小僧だ。しかも、給与を得ながら。これほど素敵な商売が他にあるのか。

ところで私は1979年から、全国の地方史雑誌文献目録の編集に取り組み、雑誌「歴史手帖」（名著出版）や「地方史情報」（岩田書院）に目次情報を連載すると共に、99年からは『地方史文献年鑑』（岩田書院）としても刊行を続けている。この実績が、「地域研究の基礎資料でありながら、ともすれば埋もれがちなの

種の雑誌を継続して発掘して刊行」してきたと評価され、第13回図書館サポートフォーラム賞を戴くことができた。嬉しかったのは、賞の趣旨に、「社会的に意義のある図書館活動を表彰して、図書館活動の社会的広報に寄与する」と謳われていたことである。

受賞に際し、思い出されることが二つあった。一は、1980年、「書誌索引展望」（書誌索引家協会）編集長の早稲田大学図書館深井人詩氏に同行して、『内閣文庫国書分類目録』の編集をはじめた皆さんの書誌解題を執筆されている元内閣文庫専門官福井保さんを訪問した際に、書庫を自由に歩きまわられるのは職員の特権であり、得た知識を利用者に提供するのには義務ではないかと思う、自分の活動は早くこの知識を利用者に知らせたいというサービス精神があつてのことだ言われたこと。

二は、1983年、『来日西洋人名事典』（日外アソシエーツ）で、1100人もの足跡を集積するという偉業を成し遂げた東京学芸大学図書館の武内博さんから、図書館員が作ったツールを、研究者に「どうだ!」と、胸を張って示したかったと聞いたことである。

長く地方史雑誌文献目録に携わってきた私の思いは、この先達二人の言葉に尽きる。

司書として活躍される皆さんには、まさに特権たる素敵な商売で身につけた経を、世間に向かって大きな声で読み上げていただきたいと切に願うのである。



「ちまちま」系をつないで：

# アラビア文字資料の 書誌作成支援について

柳谷あゆみ

財団法人東洋文庫研究員・NIHU プログラム「イスラーム地域研究」東洋文庫拠点研究分担者

2006年度よりNIHUプログラム「イスラーム地域研究」東洋文庫拠点（財団法人東洋文庫研究部イスラーム地域研究資料室）では、「イスラーム地域研究史資料の収集・利用の促進と史資料学の開拓」をテーマに活動を進めており、その一環としてアラビア文字資料の整理・利用環境の向上を目的として連絡会・ミーティングの開催や調査活動を行っている。

活動内容は多岐にわたるが、大きなものでは2007年に全国の文系四年制大学図書館・専門図書館等を対象に実施したアラビア文字資料所蔵及び整理状況に関するアンケート調査<sup>1</sup>や、2009年度に実施したユーザーの意識調査、また年に一回ペースで開催している、主なアラビア文字資料所蔵機関の担当司書の方々と国立情報学研究所コンテンツ課の方とで整理にかかる問題点や改善方法を協議する「アラビア文字図書DB連絡会」などがある。

また、小さなものではアラビア文字資料の書誌作成に関する補助ツールの作成や、国外機関への調査がある。こちらは、ほぼ個人で進められる規模のもので役に立ちそうだなと思ったら（状況等が許す限りではあるが）まずやってみるというかたちで実施してきた。実用に即して小回りを効かせたこうした活動には「ちまちま」という言葉がしっくりくる。仮に「ちまちま」系としておきたい。

さて、上記活動全般の狙いの一つに、アラビア文字書誌作成を行う作業者が、必要な知識を簡単に得られる環境を作ることがある。

前述のアラビア文字資料の所蔵・整理状況のアンケート調査では、整理業務について流用入力または外部委託で実施していると回答した機関が回答総数の34%強を占め、10年前の調査（5.8%）と比して約5倍になっていることが確認された。従前からア

ラビア文字資料整理では翻字（アラビア文字のローマナイズ）などを（司書ではない）当該言語を習得した学生や研究者に委託することが多く、担当司書がその整理実態をわかりにくい状況が推測されていたが、調査結果からはこの傾向がますます強まっていくことが予想される。

仮に、担当司書がノータッチとなった場合、作成される書誌の質はほぼ整理作業者個人にかかることになる。当該言語に通じた作業者がきちんと書誌を作りアラビア文字を翻字出来れば良いのだが、言語別の研修や独自マニュアルによる指導など個別のフォローが得られない場合、現状でこれはかなり難しいと言わざるを得ない。

たとえば、翻字ひとつをとっても、NACSIS-CATなどで採用されている翻字規則（ALA-LC Romanization tables<sup>2</sup> 米国議会図書館採用翻字表）は一般に研究者が用いる翻字規則とは異なる独自ルールのため、作業者には新たに習得する必要がある。しかも、ALA-LC Romanization tables自体、あまり扱いやすい資料ではない。というのも和訳はおろか、NACSIS-CATの「アラビア文字資料に関する取扱い及び解説」<sup>3</sup>にも、規則そのものへのアクセスがないからだ。

このような事態を知り、当拠点の「ちまちま」系活動は翻字規則を含めた初歩的なガイド「アラビア文字資料整理簡易ガイド」を作ることから始まった。これは書誌作成の初心者に向けて書誌の取り方とアラビア語及びペルシア語の翻字規則を簡単に説明したもので、前述のアンケート調査の報告書に付録としてつけることにした。翻字規則ガイドは、原文和訳ではなく、規則に馴染みのない人がまず戸惑う点をまとめるなど再構成してある。

結果的にはこれで良かったと思うが、どうして翻

1 調査の詳細は、柳谷あゆみ（編）『日本におけるアラビア文字資料の所蔵及び整理状況の調査』東京：人間文化研究機構（NIHU）プログラム「イスラーム地域研究」東洋文庫拠点、2009年を参照されたい。本報告書は東洋文庫拠点サイトからも閲覧可能である。

URL: [http://www.tbias.jp/php/association\\_detail.php?year=2008S#result](http://www.tbias.jp/php/association_detail.php?year=2008S#result)

2 ALA-LC romanization tables : transliteration schemes for non-Roman scripts / approved by the Library of Congress and the American Library Association ; tables compiled and edited by Randall K. Barry. -- Washington : Cataloging Distribution Service, Library of Congress, 1991.

ウェブからも閲覧可能。URL: <http://www.loc.gov/catdir/cpsd/roman.html>



字規則が再構成版になったかということ、実は日本語版作成の許可の取り方が判らなかったのだ。米国議会図書館（LC）あてにメールで照会したものの返信が得られなかった。この辺りが「ちまちま」系の限界かと嘆息したが、さらにイスラーム地域各地の暦法・換算方法ガイド、アラビア語書誌用語和訳表、地名ガイド等の作成を進め、これらを拠点サイト<sup>4</sup>に掲載していった。

こうした「ちまちま」系の仕事は、当然ながらどの現場でも何らか行われているものである。アラビア文字図書DB連絡会や、各機関の整理作業者を対象に試験的に実施した「アラビア文字資料整理作業者ミーティング」でも有益な独自ツールやリンク集の報告が数々あった<sup>5</sup>。一般に「ちまちま」系の活動は、現場で個人が行うことが多いので、実用的な反面、普及しにくいところがあるが、これらを共有・集約し、普及を働きかけられれば、アラビア文字書誌作成という仕事の難しさが軽減され、良質の書誌作成ひいては利用環境の改善に繋がっていくと思う。連絡会やミーティングはこの点において一定の成果を上げているが、前述のように整理作業者の大半は機関に正規には所属しておらず、機関経由での交流は難しい状態にある。そこで書誌作成に関わる個々をつなぐための試みとして「アラビア文字資料整理ML」<sup>6</sup>を作成し、ここでもツールや情報のやりとりが行えるようにした。

目を国外に転ずると、一歩進んだ活動も認められる。アラブ初の図書館ポータルCybrarians<sup>7</sup>は、Facebookで活動告知・参加受付を行っている。筆者はFacebook経由でMARC21講習の開催を知り2010年3月にカイロでの講習会に参加したが、Facebook上で参加意志を表明すると担当者から確認メールが来て個別に参加手続きの説明が行われる。



アラブの図書館ポータルCYBRARIANSのトップページ

日本ではFacebookはエジプトほど普及していないが、誰でも参加でき、参加者同士が講習後もチャットなどで交流が続けられるこの方式は幅広い層へのフォローに適しているといえる。米国には中東司書協会 Middle East Librarians' Association (MELA)<sup>8</sup>が中東地域の資料に関わるライブラリアンの支援・交流活動を進めている（「アラビア文字図書DB連絡会」はこれを見習ったところが多々ある）。ここでも中東地域の資料を扱うライブラリアン等であれば誰でも入会し、活動に参加できる。



MELAトップページの一部

このMELAに入会を申し込んだところ少し意外な展開があった。偶々、入会担当者がLCカイロ事務所の方だったので、カイロ出張の折に面会することが出来た。先方に当拠点活動の説明をしながら上述の「簡易ガイド」をお見せすると「これはいい」と思いの外うけたので「ALA-LC Romanization tablesの和訳を作りたいのですが」と申し出たら、草稿が出来た時点で改めて連絡を貰えれば、担当者への連絡等協力する旨仰って下さったのである。多分、最初の当方の連絡が拙かったのだろうが意外なところから活路は開けるものである。

アラビア文字書誌作成を巡っては、まだ人員やルールを整備も含めて根本から検討・解決すべき点がいくつもある。手探りの部分は大きい「ちまちま」系の活動をつないで技術的な問題がまず解決出来ることは明らかな前進だと思う。そして実際には「ちまちま」系の活動をするにも、その担い手には知識・経験と、ある程度安定した社会的な立場が必要で、これがなければつなぐどころか「ちまちま」系は発生すらしない。「ちまちま」系は、継続のために必要な、本来業務以前の仕事だからである。大小それぞれの活動を重ね、それらを有機的につないでいくこと、その大切さと難しさを常に思う。

3 <http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/about/infocat/tagengo/>から閲覧可能

4 NIHUプログラム「イスラーム地域研究」東洋文庫拠点サイト内「イスラーム地域資料参考リンク・解説集」URL: [http://www.tbias.jp/report\\_reference.html](http://www.tbias.jp/report_reference.html)

5 各会の報告は以下を参照されたい。URL: [http://www.tbias.jp/report\\_association.html](http://www.tbias.jp/report_association.html)

6 アラビア文字資料整理に関わる方であれば誰でも参加出来るのでお気軽にご参加を。お問い合わせはイスラーム地域研究東洋文庫拠点 ([info@tbias.jp](mailto:info@tbias.jp)) まで。

7 URL: <http://www.cybrarians.info/>

8 URL: <http://www.mela.us/index.html>



北里大学三陸キャンパスが相模原に移転

# 震災の中の2つの図書館

## 「いま」と「これから」

Iwate

東日本を襲った巨大地震が、大学へも影響を及ぼした。被災地の一つとなった大船渡市にある北里大学海洋生命科学部は、相模原キャンパスへ移転。それに伴う図書の移送や、相模原キャンパスの受け入れなど、2つの図書館に焦点を当てる。8月25日、現地取材した。

### 津波来襲によってインフラ寸断 学生の安全確保を第一に動いた北里大学

3月11日、三陸沖を震源とする東日本大震災は、多くの大学・図書館にも甚大な被害を与えた。岩手県大船渡市にある北里大学海洋生命科学部は高台にあったため、津波の被害は逃れ、校舎の一部損壊にとどまった。しかし、港に近い集落には学生寮や教職員の住まいも多く津波の被害を受け、震災時には約290名が学内で避難することとなった。体育館や研修所は宿泊場所となり、備蓄していた水や食糧のほか、学内の売店や食堂から物資を供出。さらに、北里大学は、被災から8日後の3月19日までに、大学がチャーターした大型バスで学生と教職員を首都圏へと移送した。

残念なことに学生1名が行方不明、また教職員の

海洋生命科学部の図書館。開架は1～2階だが、閉架は地下2階まであり、専門書など1400タイトルの蔵書を抱えていた



三陸キャンパス閲覧用の新聞も「あの日」以来、時間が止まっていた

中にはご家族が被害に遭われた方もいるという。津波の恐ろしさを改めて感じるとともに、ご遺族の悲しみを思うと哀惜の念に堪えない。

北里大学は、インフラの復旧の目途や安全確保の見通しが立たないなどの理由から、暫定措置として三陸キャンパスを5年間の閉鎖とし、この間、海洋生命科学部は、神奈川県相模原キャンパスを本拠地とすることを決めた。学生の引越し支援の為、両キャンパスを結ぶシャトルバスを運行。引越し先の費用も全額、大学側で負担することとした。





## 三陸キャンパスから相模原キャンパスへ 蔵書移送をめぐる現状と課題

三陸キャンパスは地盤が堅牢であったためか、建物の被害はほとんどみられなかった。同キャンパス内にある海洋生命学部図書館においても、落下した蔵書は全体の1割程と驚くほど少なかった。図書館に関して言えば、震災の被害はむしろ震源から遠く離れた相模原キャンパスの医学図書館の方が深刻であった。地震によって一部の書架が将棋倒しとなり、蔵書は書架から落下した。

遠く離れた相模原キャンパス図書館の被害が甚大であるという状況下の中で、海洋生命学部の学生や職員の研究を停滞させないために、必要な図書は三陸から

相模原へ移送しなくてはならない。三陸キャンパスの蔵書は4万3000冊。相模原キャンパスの職員は、倒れた書架の整理を行い、7,000冊分の受け入れ場所を確保した。

震災から半年。現在、三陸キャンパスの海洋生命学部図書館に残っているのは、昭和47年、三陸キャンパスの設立から職員を務めてきた刈谷勝子さんのみ。図書館の整理と移管作業など残務処理にあたっている。

「3・4月は学部移転に伴う事務や学生の引越しの手伝いなどで、図書館の業務どころではなかったのです。ようやく図書の整理に手をつけられるようになったのが6月でした。余震が続いているため、図



地震直後の相模原の医学図書館。図書の落下がひどく、揺れの凄まじさを感じさせる



図書の落下は上段部分で、全体の1割程度。堅牢な書架の造りが幸いした



震災後、図書整理などに追われる刈谷勝子さん。「図書館の職員の後継者を育成するつもりで研修していましたが、震災によって残念な結果に終わってしまった」と寂しげに語っていた

書館の中での作業が滞っていますが、1度目の引越しで研究器材とともに、重要な図書500冊を相模原に送りました。段ボールにして十数箱ぐらいです。ただ、相模原キャンパスでの受け入れ冊数が限られている為、まずは重複していない図書タイトルの抽出に当たらないといけません。その作業に時間が多くとられるため、なかなか思うように図書の移送ができないのが現状です」

刈谷さんが図書館を案内してくれた。書架は結束のため、左右の壁面にまで固定されており、太い柱でしっかりと棚板を支えていた。しかし、揺れの大きさを物語るように、前面の支柱は壁を削るように左右に移動し、上段から落下した大きな辞典が足下に積み上げられていた。刈谷さんは「まだ、こんな状態なんです」とため息交じりに苦笑した。

海洋生命科学部は、沿岸の試験場や水産技術センターなどへ就職する生徒が多い。海にもっとも近い学び舎で、学生生活を送ってきた学生にとって大船渡からの移転はさぞかし本当に残念に違いない。また職員でもある刈谷さん自身も目頭を熱くしながら「創立から図書館に務めている私にとって、最初からここまで見届けられたことは幸せです」と語った。

三陸キャンパスには約3万6,000冊の蔵書が残されることになった。5年間という長きにわたり、図書・資料は保存される。管理者や利用者のいない中、長期保存に関して十分な知見はまだ無い。是非、資料保存のノウハウ等図書館専門家の知恵をいただき、無事に冬眠から覚めることができるよう協力したい。不足する書籍・資料は相互貸借に依存することが見込まれており、多くの大学図書館の快い対応も臨むところである。日本を揺るがした東日本大震災で北里大学は、この2つの図書館の他にも港区白金にある白金図書館も医学図書館と同様の書架倒壊という甚大な被害を受けた。震災から半年が過ぎた現在、学術研究を支える大学図書館として、その使命を果たすべく懸命の対応が続いている。

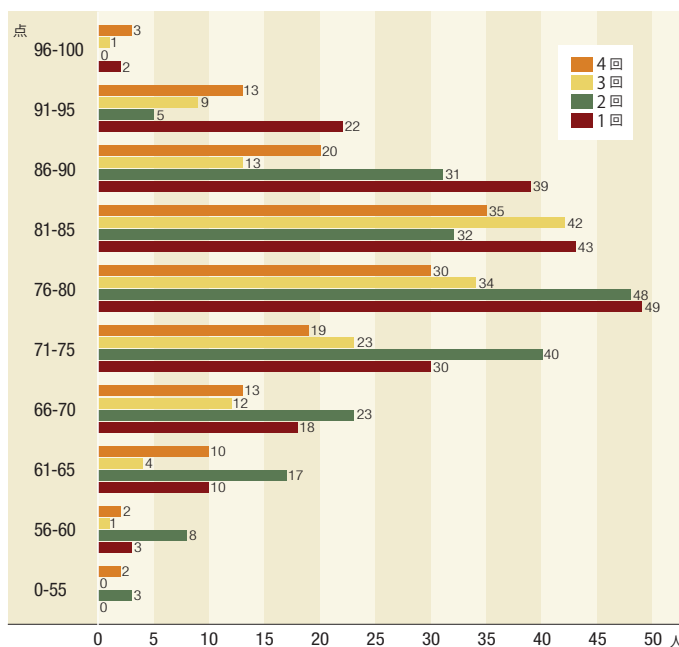
# IAAL 大学図書館業務 実務能力認定試験

「総合目録-図書初級」第4回,「総合目録-雑誌初級」第3回 実施報告

**日時** 2011年6月5日(日) 14:00-14:50 (図書, 雑誌 同時開催)  
**会場** 東京-立教大学 池袋キャンパス 4号館, 名古屋-ウインク愛知 愛知県産業労働センター  
**出題** マークシート方式・二者択一・100問

## 結果概要【図書初級 第4回】

### ● 全体の得点分布 (第1回～第4回)



|       | 第1回   | 第2回   | 第3回   | 第4回   |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 最高得点  | 97点   | 94点   | 97点   | 96点   |
| 平均点   | 79.9点 | 76.4点 | 79.3点 | 79.2点 |
| 得点中央点 | 80点   | 77点   | 80点   | 80点   |
| 標準偏差  | 8.51  | 8.93  | 7.29  | 9.05  |

第4回の得点結果は、過去3回の結果と概ね同じ傾向となりました。

図書初級は80点以上の獲得で合格となります。平均点や得点分布のグラフから分かるように、80点前後の得点をとられた方が最も多く、「合格まであと一歩」という方も多かったことが分かります。

### ● 問題の領域別正解率

| 領域       | 第4回   | 問題数 |
|----------|-------|-----|
| 総合目録の概要  | 79.3% | 30  |
| 各レコードの特徴 | 87.2% | 15  |
| 検索の仕組み   | 79.0% | 25  |
| 書誌同定     | 73.3% | 10  |
| 総合       | 76.1% | 20  |

図書初級では毎回、左表にある5領域に分けて問題を出題しています。

今回は、手元の情報源と書誌を確認し、同定が可能かどうか判断する「書誌同定」と、様々な図版を使った「総合問題」がやや低い結果となりました。

この二つは特に、実務において正しい所蔵登録を行うための知識を問う領域です。7～9ページに問題例集と解説がありますので、これらの問いと解説を、ぜひ日々の所蔵登録業務に活用いただければと思います。

### 受験者アンケート結果

#### 受験したご感想は？

- ・ 難しかった。目録作成の知識がいかに曖昧だったかと分かった。(図書初級・名古屋)
- ・ 現場で理解していると思っていても、文章にすると判断に少し戸惑いました。(図書初級・名古屋)
- ・ いざ手元に実際の資料やマニュアルが無いと難しく感じました。(図書初級・東京)
- ・ 事前学習をすることでスキルアップになり良かった。(雑誌初級・東京)

#### 受験の動機は？

- ・ 今年3月から大学図書館で働き始めて、司書資格はありますが検索のしくみを知らなかったので受験をきっかけに勉強しようと思った。(図書初級・東京)
- ・ 普段の業務に活かせる知識が身につけられると思ったため。(雑誌初級・名古屋)
- ・ しっかりとした書誌作成を目指しているので。(図書初級・名古屋)
- ・ 図書を取得したので次は雑誌を取得しようと思いました。(雑誌初級・東京)

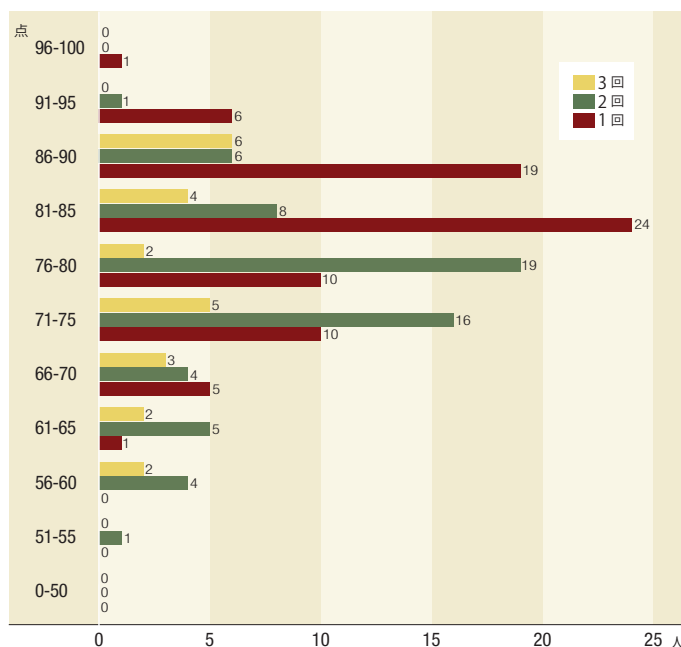
|      | 図書初級 第4回           | 雑誌初級 第3回         |
|------|--------------------|------------------|
| 受験者数 | 147名（東京89名・名古屋58名） | 24名（東京18名・大阪6名）  |
| 応募者数 | 154名（東京93名・名古屋61名） | 27名（東京20名・名古屋7名） |
| 合格者数 | 78名（合格率53.1%）      | 10名（合格率41.7%）    |



名古屋試験会場

## 結果概要【雑誌初級 第3回】

### ● 全体の得点分布（第1回～第3回）



|       | 第1回   | 第2回   | 第3回   |
|-------|-------|-------|-------|
| 最高得点  | 97点   | 91点   | 89点   |
| 平均点   | 82.1点 | 75.4点 | 76.3点 |
| 得点中央点 | 84点   | 76.5点 | 76点   |
| 標準偏差  | 7.07  | 8.61  | 9.39  |

全体的な得点について、今回の第3回と第2回にあまり大きな差はありませんでしたが、第1回と比べると全般にやや低い結果となりました。

図書初級と同様、雑誌初級も80点以上の獲得で合格となります。平均点が76.3点だったことから分かるように、合格率も図書初級より低い41.7%でした。

### ● 問題の領域別正解率

| 領域           | 第3回   | 問題数 |
|--------------|-------|-----|
| 総合目録の概要      | 79.7% | 30  |
| 各レコードの特徴     | 81.7% | 15  |
| 検索の仕組みと書誌の同定 | 71.4% | 22  |
| 所蔵レコードの記入方法  | 74.4% | 13  |
| 総合           | 74.0% | 20  |

雑誌初級でも毎回、5領域を設けて問題を出題しています。

今回は、「検索の仕組みと書誌の同定」の領域が他と比べ低い結果になりました。検索については、実際の業務では試行錯誤を繰り返しながら検索キーを設定できるので、試験問題として検索理論を問われると、意外と迷ってしまうことが多いのではないのでしょうか。しかし、検索の仕組みをきちんと把握していることが正確な検索への第一歩です。8ページの問題例集で迷った方などは、解説や各種マニュアルを確認し、NACSIS-CATにおける検索について再確認いただければと思います。

**今**回の雑誌初級は、受験者数が2会場あわせて27名でした。

この雑誌初級の試験も3回目を迎えましたし、また全体的に、雑誌目録を専門に担当されている方が少ないことが要因としてあげられます。

しかし、これまでの問題例集を見てもらうと分かるように、この雑誌初級の問題は総合目録データベースそのものの知識を問う問題であったり、ILL業務などにも深く関連

する所蔵データの見方を問う問題などが多く含まれています。

この号を読まれている方で、もし「雑誌は時々しか担当しない」「私はILL担当なので」と思っている方がいたら、日々の業務の内容確認、あるいは「腕試し」と思って、ぜひこの試験を受けてみてください。普段、曖昧に捉えていることなどが試験を受けることで見えてくるかもしれません。

皆さまの応募を、IAAL一同お待ちしております。



# 「総合目録-図書初級」 第4回

# 「総合目録-雑誌初級」 第3回

## 問題例集 <抜粋>

○×で回答する二者択一方式です。

総合目録-初級の出題範囲については、これまでのニュースレターをご参照ください。領域Ⅰ～Ⅲでは一部、図書と雑誌で共通の問題が出題されています。今回は共通問題を1問と、比較的正答率の低かった問題を取りあげ、解説します。

### 【図書・雑誌共通】

## I. 総合目録の概要

問21

現在の参照ファイルはすべて、情報検索プロトコルZ39.50を用いて、直接、該当する書誌ユーティリティへの検索利用を可能とする「目録システム間リンク」という方式を採用している。

### 【図書初級問題】

## II. 各レコードの特徴

問34

「出版物理単位」とは、「上巻」「下巻」のように分冊になっておらず、物理的に1冊である資料のことである。

## III. 検索の仕組み

問58

13桁のISBN「9784820406211」を10桁で検索するには、冒頭の「978」を除き、「4820406211」と入力して検索すればよい。

● 次の図書書誌レコードを総合目録データベース（BOOK）で検索する場合の検索キーとして、正しい場合は○、間違っている場合は×としない。

GMD: SMD: YEAR:2010 CTRY:ja TTLL:jpn TXTL:jpn ORGL:  
ISSN: NBN: LCCN: NDLCN:  
REPRO: GPON: OTHN:  
VOL: ISBN:9784087814361 PRICE:1300円+税 XISBN:

TR:世界を、こんなふうに見てごらん / 日高敏隆著||セカイ オ コン  
ナ フウ ニ ミテ ゴラン  
PUB:東京:集英社, 2010.1  
PHYS:163p; 20cm  
AL:日高, 敏隆 (1930-2009)||ヒダカ, トシタカ <DA00137253>

問60

TITLE=世界を

## IV. 書誌同定

問71

手元の和図書と検索結果の書誌データを照合したところ、他の情報は一致していたが、書誌データには標題紙のタイトルではなく、奥付にあるタイトルが本タイトルとして記述されていた。この場合は、この書誌と同定してよい。

## V. 総合

● 図1の図書の説明文で、正しい場合は○、間違っている場合は×としない。

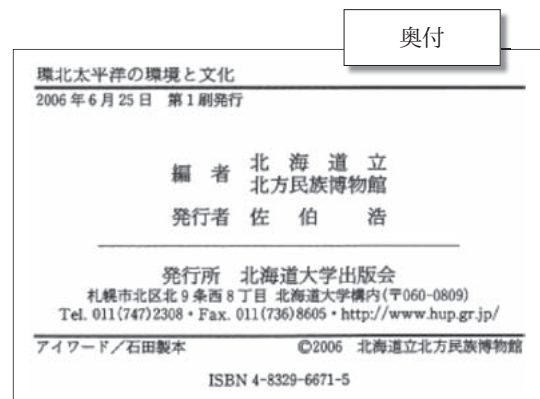


図1

GMD: SMD: YEAR:2006 CTRY:ja TTLL:jpn TXTL:jpn ORGL:  
ISSN: NBN: LCCN: NDLCN:  
REPRO: GPON: OTHN:

TR:環北太平洋の環境と文化 / 北海道立北方民族博物館編||カンキ  
タタイヘイヨウ ノ カンキョウ ト ブンカ  
PUB:[札幌]:北海道立北方民族博物館, 2006.3  
PUB:[札幌]:北海道大学出版会 (A)  
PHYS:xi, 312p; 22cm  
AL:北海道立北方民族博物館||ホッカイドウリツ ホッポウ ミンゾク  
ハクブツカン <

書誌レコード(A)

問82

図1の図書の所蔵レコードを登録するのは、書誌レコード(A)である。

問83

「AUTH=北方民族博物館」は、図1の図書の正しい検索キーである。



## 【雑誌初級問題】

## II. 各レコードの特徴

問41

「NOTE: 変遷前誌: ○○」のような注記が記述されている書誌レコードは、自動的に変遷リンクが形成されている。

## III. 検索の仕組みと書誌同定

問55

TRフィールドの本タイトルに「The women's annual」と記述されている書誌レコードを検索する場合、「TITLE=womens annual」は正しい検索キーである。

## IV. 所蔵レコードの記入方法

次の枠内の書誌レコードに対して、所蔵巻次（HLVフィールド）の記述方法について正しいものは○、間違っているものは×としなさい。

問77

VLJR:2巻3号(1987.3)-9巻5号(1994.5)  
FREQ:m(月刊)

「2巻3号(1987.3)」から「9巻5号(1994.5)」までを間に欠号なく所蔵登録する場合は、  
「HLV: 2(3)-9(5)」と記述する。

## V. 総合

● 図3の雑誌の説明文で、正しい場合は○、間違っている場合は×としなさい。

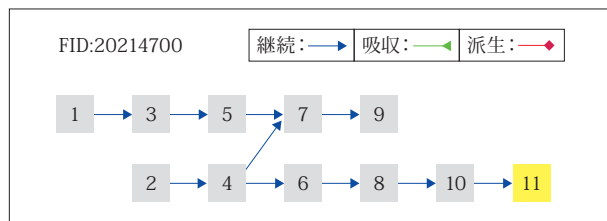
問89

その他のタイトル（VT）が記述されていない場合には、「TITLE=社会保障」で検索してもこの書誌レコードはヒットしない。

問90

所蔵検索において、「HLV: 650」と記述されている所蔵レコードは、「HLV=65(2616)」と入力して検索した場合にはヒットしない。

● 図（A）は図5の雑誌の変遷マップである。



図（A）図5は掲載省略

問99

図（A）の変遷ファミリーの中で、継続刊行中の可能性がある雑誌は「9」と「11」のみである。

問100

図（A）にある「7」は、「4」と「5」から派生した雑誌である。

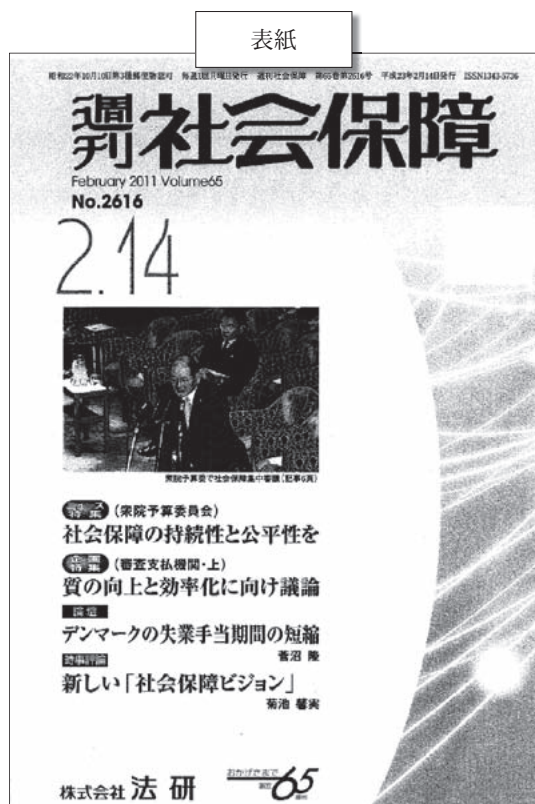


図3

GMD: SMD: YEAR:1963 CNTRY:ja TTLL:jpn TXTL:jpn ORGL:  
REPRO: PSTAT:c FREQ:w REGL:r TYPE:p  
ISSN:13435736 CODEN: NDLPN:00010689 LCCN:  
ULPN:0087190007 GPON:

TR: 週刊社会保障 / 社会保険法規研究会 || シュウカン シャカイ ホ  
ショウ  
VLJR: Vol. 17, no. 196 (昭38.4)-  
PUB: 東京 : 社会保険法規研究会, 1963-  
PHYS: 冊 ; 26cm  
VT: VT: 社会保障 || シャカイ ホショウ  
NOTE: 責任表示・出版者変更: 社会保険法規研究会 (-46巻1704号  
(1992.8))  
→法研 (46巻1705号 (1992.9)-)  
FID: 00095000  
BHNT: CF: 月刊社会保障 = Social security / 社会保険法規研究  
会 <AN00274998>  
AL: 社会保険法規研究会 || シャカイ ホケン ホウキ ケンキウカイ  
<DA01265973>  
AL: 法研 || ホウケン <DA09257345>

参考（書誌レコード）

## 「総合目録-図書初級」第4回、「総合目録-雑誌初級」第3回 正解と解説

## 【図書・雑誌共通】

## &gt; 問21

正解：× 正答率：図書47.6%・雑誌58.3%

OCLCやHBZのように「目録システム間リンク」を採用している参照ファイルもありますが、JPMARCやUSMARCなど、ほとんどの参照ファイルはあらかじめNACSIS-CATの仕様に合わせて変換されて収録されています。

## 【図書】

## &gt; 問34

正解：× 正答率：61.2%

出版の都合等で分冊刊行されている資料において、上巻、下巻等、分冊の各单位を出版物理単位といいます。

## &gt; 問58

正解：× 正答率：81.0%

ISBNの末尾の1桁はチェックディジットで、それ以外の桁の数字を一定の方法で計算して算出しています。10桁のISBNは先頭に978を付ける事で13桁にする事ができますが、チェックディジットは再度計算し直さなければ正しい数字を知る事ができません。従って、13桁のISBNから単純に978を除いただけではチェックディジットが違っている事が多く、正しい検索キーとは言えません。

## &gt; 問60

正解：○ 正答率：48.3%

タイトルの漢字部分からのインデックスは、ヨミのワカチに対応するもの以外にも、漢字部分そのものからも切り出されます。この時、途中でデリミタがある場合はそこで区切られます。設問の例では「、」で区切られて、「世界を」と「こんなふうに見てごらん」の2つのインデックスが切り出されている事になります。

## &gt; 問71

正解：○ 正答率：77.6%

選択した情報源の違いによるタイトルの表示形の相違では別書誌とはなりません。

## &gt; 問82

正解：× 正答率：55.1%

一見この書誌で良さそうですが、出版者と出版月が違います。2段目のPUBに記入されている「( )」で括られた部分は製作を表しますので、北海道大学出版会が発行した図書の書誌はこれではありません。

## &gt; 問83

正解：× 正答率：64.6%

AUTHキーとして切り出されるのは、TRフィールドから「北海道立北方民族博物館編」、ALフィールドからは、漢字部分の全体である「北海道立北方民族博物館」と、ヨミの「ホッカイドウリツ」「ホッポウ」「ミンゾク」「ハクブツカン」、そしてこれらのワカチに対応して切り出される「北海道立」「北方」「民族」「博物館」だけです。設問の「北方民族博物館」というインデックスは切り出されませんので正しい検索キーではありません。

## 【雑誌】

## &gt; 問41

正解：× 正答率：83.3%

タイトル変遷レコードは、参加館からの変遷報告を受けNIIの検証、認定作業を経て作成されます。その段階で書誌レコードのBHNT、FIDフィールドにデータが記入されます。この2つのフィールドはNIIだけが記入するもので、変遷リンクが形成されている事を示します。NOTEフィールドの記述の有無は、変遷リンクの形成とは関係ありません。

## &gt; 問55

正解：× 正答率：16.7%

検索用インデックスの作成では、まずデリミタの区切りごとに語を切り出し、これにさまざまな正規化処理を施します。語の頭の「d」「t」や語尾の「s」の除去もその一つで、「women's」は語尾の「s」を除き、「WOMEN」に変換されます。

## &gt; 問77

正解：× 正答率：79.2%

書誌のVLYRデータと所蔵データを比べてみると2巻、9巻も完全巻所蔵という事がわかりますので、所蔵登録では「HLV: 2-9」と記述します。仮に、所蔵が不完全巻の場合であっても「HLV: 2(3)-9(5)」は記述文法の点から誤りです。丸括弧に数値を記入した不完全巻同士をハイフンでつなぐ事はできません。

## &gt; 問89

正解：○ 正答率：50.0%

TITLEKEYの検索対象は、TRフィールド(スラッシュより前の部分)と、VTフィールドです。問題中に掲載されている書誌レコードのTRフィールドからは「週刊社会保障」「週刊」「社会」「保障」「シュウカン」「シャカイ」「ホショウ」が切り出されます。「社会保障」というインデックスはVTフィールドからだけ切り出されるので、VTに記述されていなければヒットしません。

## &gt; 問90

正解：○ 正答率：70.8%

「HLV: 65()」と記述された所蔵レコードは、「65巻を所蔵しているが、欠号がある」という事を意味します。その巻の特定の号が、欠号か、それとも所蔵レコードに含まれるかまでは表現しないので、「HLV: 65(2616)」のような検索の仕方では、ヒットしません。

## &gt; 問99

正解：○ 正答率：87.5%

図(A)中、9と11以外について「→」(右向きの矢印)は、継続を意味します。継続とは、前誌が刊行を終了して後誌に変遷する事です。「9」「11」には、継続後誌がないので、刊行中の可能性がある事が図から読み取れます。

## &gt; 問100

正解：× 正答率：66.7%

図(A)では、「継続」「吸収」「派生」の別を、線分の先端の記号で表わしています。

「7」は「4」「5」双方と「継続」である事がわかります。変遷図の表示は、使用するクライアントにより多様ですので、表示方法をよく確認する事が必要です。



## カタログの 独り言

# 「目録にあつたら良いと思うもの」(その1)

毎日目録を採りながらも、なぜこの情報を記入しないのか、あつたら便利なのに、と思う項目がいくつかあります。今回は、通常は書誌に記入しないけれども、あつたら便利だろうと思う点を挙げてみます。

### 1) 背の書名

本を探すときに、背に何と書いてあるかがわかれば探しやすいと思います。本タイトルと同じであればもちろん不要ですが、背にはシリーズ名しか無い、とか、背のタイトルは〇〇である、とか、背にはタイトルが無い、などの記述があると良いと思います。

### 2) 本の厚さ

これも本を探すときにも役立ちますし、どの程度の分量なのかを知る目安になります。現在はページ数を記入していますが、ページ数で厚みを推定できない人もいます。厚みが3cmもあるのなら、この本は読むのをよそう、と考える人もいるのではないのでしょうか。(そう思っていたら、amazonの書誌には記載されています。) 書架を移動する時などにも必要な書架を計算できますので便利だと思うのですが。

逆に、現在は出版物理単位の書誌には、「〇冊」とだけ記入して、個々の図書のページ数を記入していませんが、NACSISでは書誌の同定が重要なポイントです。一方でページ数の相違で別書誌を作成しておきながら、分冊になるとページ数をまったく記入しないというのはおかしい話だと思います。AACR2の別法のように、分冊の場合もそれぞれのページ数を記入すべきではないでしょうか。

### 3) 異版

現在でも、VT:ORに記入する事で、異なる版次の資料をヒットさせることは可能です。しかしながらISBNで求める書誌をヒットさせてしまうと、それよりも新しい版が出ていてもその事を知る事はできません。書誌の記述として、新しい版が出ている、とか、翻訳が出ている、という情報を記入するか、あるいは書誌をリンクさせて新しい版や翻訳の書誌を表示できるようにすると良いと思います。

### 4) 文字

日本語で旧字、旧かなが使用されているものは、それらを読めない、もしくは読みにくいと感ずる人がいるので、明記すべきだと思います。また、中国語の簡体字と繁体字、ドイツ語の亀甲文字も書誌に記述があると良いのではないのでしょうか。

(続く)

IAAL事務局：K生

# IAAL 大学図書館業務 実務能力認定試験 (IAAL 認定試験)

## 2011 年 11 月 20 日 (日)

- ▶「総合目録－雑誌初級」第 4 回
- ▶「総合目録－図書中級」第 2 回

## 受験案内

### [1] 受験資格

(雑誌初級) 受験資格はありません。  
(図書中級) 図書初級合格が受験条件となります。

### [2] 受験料

(雑誌初級) 一般：3,000 円 IAAL 会員：2,000 円  
(図書中級) 一般：5,000 円 IAAL 会員：4,000 円

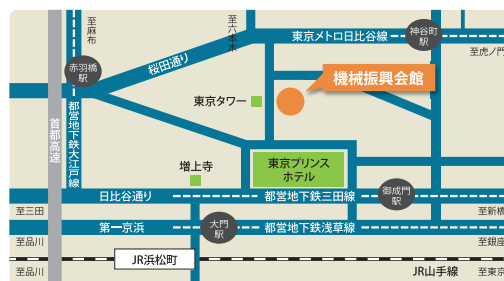
### [3] 申し込み期間

2011 年 9 月 15 日 (木) ～ 10 月 31 日 (月) ※当日消印有効

### [4] 試験会場

#### ① 東京会場 機械振興会館

[http://www.jcmanet.or.jp/gaiyo/map\\_kaikan.htm](http://www.jcmanet.or.jp/gaiyo/map_kaikan.htm)

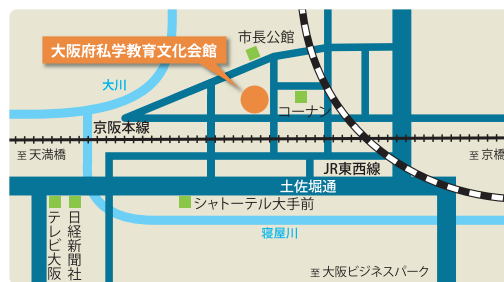


**アクセス** 【地下鉄】東京メトロ日比谷線「神谷町」駅下車徒歩約 7 分、都営大江戸線「赤羽橋」駅下車徒歩約 8 分、都営三田線「御成門」駅下車徒歩約 10 分、都営浅草線「大門」駅下車徒歩約 15 分、【JR】「浜松町」駅下車徒歩約 18 分

〒105-0011  
東京都港区芝公園 3-5-8  
TEL : 03-3434-8211 (代表)

#### ② 大阪会場 大阪府私学教育文化会館

<http://www.osaka-shigaku.gr.jp/kaikan/access/index.html>



**アクセス** JR東西線「大阪城北詰」3 番出口より徒歩 2 分、JR環状線「京橋」北口より京阪電車高架下西へ徒歩 12 分、京阪「京橋」西口より西へ徒歩約 10 分、地下鉄 鶴見緑地線「京橋」より徒歩約 10 分、「大阪ビジネスパーク」より徒歩約 10 分、京阪「天満橋」より徒歩 12 分、地下鉄 谷町線「天満橋」より徒歩 12 分

〒534-0026  
大阪府大阪市都島区網島町 6-20  
TEL : 06-6352-3751

#### > COVER story



カイロ大学中央図書館。  
2008年に開館した新館。

<問い合わせ> NPO 法人 大学図書館支援機構

電話: 03-5961-3401 FAX: 03-5944-5087

メール: [info@iaal.jp](mailto:info@iaal.jp)